

サマープログラム 体験談

商学部ホスピタリティ・マネジメント学科 農 花奈子

1. サマープログラムを申し込んだ動機について

高校生の時、外国の方に道を聞かれたことがあったのですがその時何も話せず、相手を困惑させてしまいました。その時に普段から話す練習をしなければ咄嗟に英語はでてこないのだと感じ、外国の方と話す機会を増やしたいと思いました。サマープログラムは生の英語を聞くことができ、かつ英語しか話せない状況に身を置けると感じ申し込みました。



2. 現地での語学コースについて

○参加したコース(レベル):

Culture, Sports, Art

○コースの内容(授業内容、良かった点、悪かった点、反省点、感想など):

机に向かってひらすら勉強するというよりは、体を動かしながら楽しく勉強するという授業でした。教室の前後左右に写真が貼ってあり、その写真に写っているものの名前を当てる授業や、町に出て地図に描かれている場所を探し写真を撮る授業などがありました。このように、ゲーム感覚で英語を学ぶことができとても良かったと思います。当然ながら授業はすべて英語なのでリスニングにもなり、耳が少し慣れたと思います。

ただ私が参加した授業は日本人しかいなかったもので、日本語で普通に話してしまいました。せっかく外国で英語の授業を受けているのに、日本語を話してしまい勿体無かったと思います。

○授業の一環の小旅行に対する感想:

毎週水曜日に様々な場所に行くことができ良かったです。みんなで一緒にバスで行きますが、旅行先では自由行動なので自分の好きな場所を観光しました。旅行前日にその場所について勉強して行くので、学んだことを思い出しながらまわられて楽しかったです。

3. 宿舎について(良かった点、悪かった点、感想など)

宿泊先の寮はとても綺麗でした。みんなの共同スペースはソファがありゆっくりすることができました。個人の部屋に入るまでに何個も鍵があるのでセキュリティは万全だと思います。また、卓球ができる場所があり楽しかったです。ただ、私が泊まった部屋は3階だったので荷物を上まで運ぶのは大変でした。シャワーから出てくるお湯が途中から水に変わってしまい、

そこからお湯に戻らない日が何度かありとても寒かったです。また、恐らくヒーターだと思いましたが、つけ方が分からなくて使えなかったです。

4. 現地での生活全般について

近くにコンビニやスーパーがあり、不便さを感じることはありませんでした。ただスーパーは閉まるのが早いので気を付けないといけませんでした。学校帰りにスーパーに寄って買い物することが多かったです。食事は外食が多かったのですが、後半は部屋のみんで作ったりしました。昼食はサンドウィッチを作って持って行きました。

5. プログラムに参加して、学んだこと、自分が得たもの、参加前の自分とどう変わったか等

サマープログラムに参加して、やはり私には英語力が足りないと痛感しました。相手が何を伝えたいのかが分からない、自分の伝えたいことが伝わらない、この繰り返しでした。相手の話をきちんと理解したい、また自分の言いたいことを正確に伝えたい、それにはもっと英語を勉強しなくてはいけないと思いました。

日本語が通じない場所で暮らしたことで、日本にいる外国人の気持ちが分かった気がします。自分の言葉が通じない、まわりが何を話しているのかがわからない、これはとても不安な気持ちになりました。

私は電車の乗り換えが分からなくて困っていた時、近くにいたおばあさんに聞くととても丁寧に教えてくださいました。大変助かったので、私も日本で困っている外国の方がいたら積極的に話しかけていきたいです。

サマープログラムで出会った人達の話聞いて、これまでの自分を振り返ることができました。大学に入ってからの日々をどう過ごしてきたのか、将来はどんな人間になりたいのかを考えるいい機会になりました。大学に入る前に抱いていた目標をもう一度思い出して、それを達成するために努力しようと思いました。

6. プログラム全体に対する感想、反省

実際に海外へ行き、現地の文化や人々と触れ合う貴重な体験ができて、楽しい 3 週間を過ごせました。しかし、私はあまり積極的に英語を話せなかったと思います。英語ができる人と行動することが多く、その人に任せてばかりで自分から進んで英語を話せていませんでした。自分から積極的に話していれば、もっと自分のためになったと思います。

寮生活なので、普段は日本語で生活をします。本格的に英語を勉強したいならホームステイをした方がいいのではないかと思います。どちらかと言えばこのプログラムは、初めて海外に行く人や海外の雰囲気に触れたい人向けかなと感じました。

今年は同じクラスに他国からの留学生がいなかったので、先生が UCLan の日本語を勉強している学生を紹介して下さり、友達になることができました。そこでできた友達がホームパーティーに招待してくれたり、旅行に一緒について来てくれたりして、とても仲良くなることができました。

7. イギリスに持って行った方がいい物、もしくは持って行く必要がなかった物について

持って行った方がよいものは、レンジで温められるご飯、スリッパ、柔軟剤、箸、たくさんの洗濯物を干せるように紐など、キャリーケースとは別の大きなバックです。

8. 休暇のプランの立て方や行った場所など詳しく教えてください。

旅行先はわりと行き当たりばったりで決めていました。歩いて、じゃあここは行ってみる？みたいに関心が多かったです。絶対に行きたいところは先に調べておいて、〇〇と××が近いから〇〇の後に××に行こうという様に大まかに決めていました。最初の週の日曜日はチェスターに行き、次の週はロンドン、その次はロンドンとヨークに行きました。

9. イギリスに持参した現金の金額とクレジットカードで使った金額はどれくらい？

現金は日本円で大体5万円ほど持って行きました。クレジットカードは約7万円使ったと思います。クレジットカードは幾ら使ったかが分かるように、紙や携帯にメモしておいた方がよいと思います。カードの上限を越えて、後半は使えなくなった人がいたので注意が必要です。